トウキ末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は淡灰褐色を呈し，特異なにおいがあり，味はわずかに甘く，後にやや辛い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，でんぷん粒又は糊化したでんぷん塊及びこれらを含む柔組織の破片，淡黄褐色のコルク組織の破片，やや細胞壁の厚い厚角組織の破片，師部の組織の破片，分泌細胞に囲まれた油道の破片，径 20～60μm で単穿孔を持つ階紋及び網紋道管の破片を認める．でんぷん粒は単粒又はまれに 2～5 個の複粒で，単粒の径は 20μm 以下，複粒は 25μm に達することがある.

純度試験（3）の項を次のように改める.

純度試験

（**3**）　異物　本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，著しく木化した厚壁細胞を認めない.